

令和8年度予算見積調書

課室名：消防課
担当名：消防・救急担当
内線：8153

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P11	消防学校を核とした消防力の強化			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	消防行政推進費		
事業期間	令和7年度～ 令和15年度	根拠法	消防組織法29条及び51条 令	針路分野施策	01	災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール 4, 5	SDGsターゲット 4-3, 4-a, 5-b, 5-c		
1 事業概要	消防学校での教育訓練により、激甚化・頻発化する大規模災害への対応能力を強化するため、消防学校の再整備に向けた検討を行う。			20,005千円						
	ア 消防学校再整備事業			ア 消防学校再整備事業	20,005千円					
	イ 消防教育DX事業			(ア) 基本計画の策定 基本構想とともに、各種法令の調査、整備内容、施設規模、配置計画や整備手順などを具体化し、実現可能な計画を立案する。	4,422千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				イ 消防教育DX事業	(ア) 通信環境、モバイル端末の整備 オンライン講義やデジタル教材の利用などDXを活用した学習環境の整備により、繰り返しの学習や実技訓練時の映像を活用したきめ細やかでタイムリーな指導などの実施で習熟度の向上を図る。					
3 地方財政措置の状況 なし				(2) 事業計画	ア 消防学校再整備事業 令和7年度 基本構想 令和8年度 基本計画 令和9年度 基本設計 令和10年度 実施設計 令和11年度以降 建設工事等 令和16年度 供用開始					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円				イ 消防教育DX事業	令和9年2月 先行運用開始 令和9年4月 本格運用開始					
				(3) 事業効果	・ DXの活用や実災害に対応した高度な教育訓練を受講 ・ 学習環境が向上し、実災害に対応した高度な技術や知識を効率的に習得 ・ 激甚化・頻発化する大規模災害への対応能力の強化 【活動指標（アウトプット）】消防学校のDXも含めた再整備 【成果指標（アウトカム）】学習環境の向上 ・ DXに活用した教育訓練による学生の理解度向上 (受講者アンケート理解度深まった割合80%) ・ 災害対応に関する技術を習得 (受講者アンケート理解度深まった割合80%)					

予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	24,427							24,427	23,889
前年額	538							538	

事業内訳書

事業名	消防学校を核とした消防力の強化		
単位事業名	消防学校再整備事業	予算額	20,005千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	20,005	19,467	
合計	20,005	19,467	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	138	49	有識者謝金 10人分
旅費	12	△395	委託先企業打合せ 6回分
需用費	11	△11	事務用品
委託料	19,844	19,844	基本計画策定支援業務委託
使用料及び賃借料	0	△20	
合計	20,005	19,467	

単位事業名	消防教育DX事業	予算額	4,422千円
-------	----------	-----	---------

○歳入 (単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	4,422	4,422	
合計	4,422	4,422	

○歳出 (単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	550	550	ネットワークシステム機器設備保守
使用料及び賃借料	3,872	3,872	ネットワークシステム機器設備提供
合計	4,422	4,422	